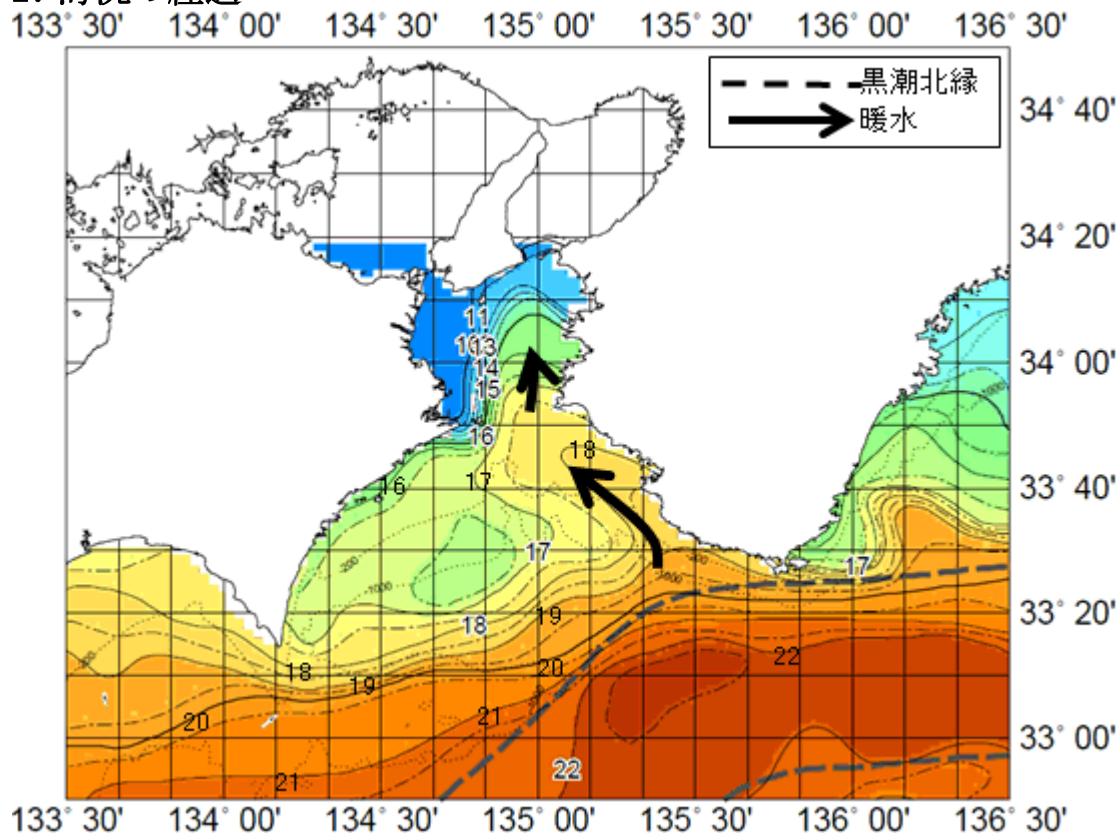


1. 海況の経過

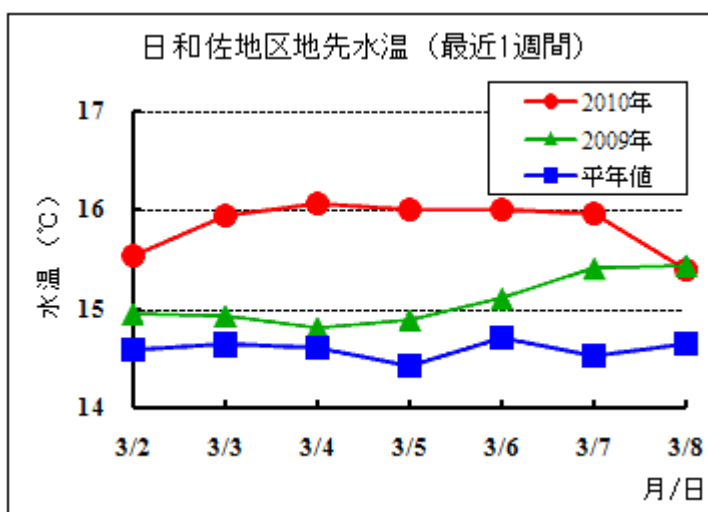
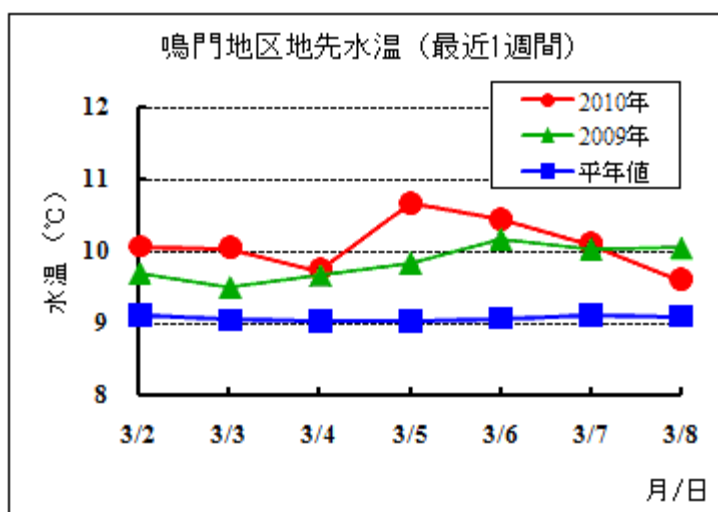


海況

上に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県および和歌山県が共同で作成した海況図(H22.3.8)を示した。黒潮は蛇行し、室戸岬沖でやや離岸、潮岬沖で接岸している。室戸岬以西の黒潮は、都井岬沖でやや離岸、足摺岬沖でかなり離岸している。黒潮本流の表面水温は、19～22℃台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘が9～10℃台、紀伊水道が10～17℃台、海部沿岸が12～17℃台である。紀伊水道外域では、潮岬沖付近から和歌山県沿岸に沿って暖水が流入し、その先端が紀伊水道内部に入り込んでいる。紀伊水道内部への暖水流入は先週よりもやや弱まったものの継続している。蒲生田岬から北東方向に内海系水と黒潮系水の潮境がある。漁業調査船「とくしま」によると海部沿岸で内海系水は南下していない。

地先水温

最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「やや高め」～「高め」の9.6～10.7℃、日和佐地区は「やや高め」～「高め」の15.4～16.1℃、牟岐地区は「やや高め」～「かなり高め」の15.2～17.4℃で推移した。



2. 漁況の経過

延縄:海部沿岸で、特大・大主体にゴマサバが0.3トン(1日1隻当たり42kg)水揚げされた。

小型定置網:海部沿岸で、ウルメイワシが0.3トン(同28kg)、カタクチイワシが2.6トン(同238kg)、キビナゴが0.5トン(同42kg)水揚げされた。

大型定置網:海部沿岸で、大主体にアオリイカが0.3トン(同35kg)、大主体にクロダイが0.2トン(同28kg)、小主体にゴマサバが0.2トン(同29kg)、ブリが0.5トン(同67kg)、特大・大主体にマアジが0.3トン(同37kg)、メジロが0.4トン(同55kg)水揚げされた。

釣り:海部沿岸で、大主体にアオリイカが0.8トン(同10kg)、大主体にゴマサバが1.7トン(同54kg)、特大主体にマサバが0.4トン(同13kg)、メジロが1.3トン(同12kg)、紀伊水道で、特大主体にタチウオが0.4トン(同38kg)水揚げされた。

パッチ網:紀伊水道で、イカナゴが8.8トン(同102kg)水揚げされた。

漁業種類別漁獲量集計表(抜粋) 03月01日～03月07日 県下6漁協からの聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出 漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり 漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	ゴマサバ	8	337	42	特大・大主体
小型定置網		ウルメイワシ	11	309	28	
		カタクチイワシ	11	2,617	238	
		キビナゴ	11	463	42	
		アオリイカ	8	279	35	大主体
大型定置網		クロダイ	8	224	28	大主体
		ゴマサバ	8	232	29	小主体
		ブリ	8	538	67	
		マアジ	8	292	37	特大・大主体
		メジロ	8	443	55	
		ゴマサバ	15	439	29	大・小主体
釣り		ハマチ	66	738	11	
		メジロ	92	932	10	
		イカナゴ	86	8,750	102	
パッチ網		紀伊水道	イカナゴ	86	8,750	102

週間予報:

黒潮は、室戸岬沖で「やや離岸」、潮岬沖で「接岸」～「やや離岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先は「平年並み」の9℃台、日和佐地先は「平年並み」～「やや高め」の14℃台後半～15℃台で推移する見込み。

*水温偏差の目安

平年並み:±0.49以下, やや高め(やや低め):±0.50～1.49, 高め(低め):±1.50～2.49, かなり高め(かなり低め):±2.50以上